

## 当事業所を利用した感想

|        |   |        |   |
|--------|---|--------|---|
| 氏名     | H・T   | 性別     | 男                                       |
| お住いの地域 | 荒尾市   | 訓練のタイプ | 通所・ <input checked="" type="radio"/> 在宅 |
| 利用期間   | 令和5年10月～令和5年11月（2ヶ月間）   |        |   |
| 訓練内容   | 特例で就労訓練は行っておりません。   |        |   |
| 感想     | <p>最初に私のモットーをお伝えさせていただきます。それは『利用できるリソース（資源）は利用する』です。</p> <p>この記事が皆様の就労活動の一助となることを願っています。就労活動は時期尚早と思われているかもしれません、私の経験が何らかのヒントになれば幸いです。</p> <p>私が『みらいねっとワークス』に連絡を取ったのは、前職を退職して既に1年7ヶ月経過していた時でした。退職直後から利用しなかったことに対する後悔は今も残っています。</p> <p>退職当時、私の障がい者雇用で就労することに対する考え方は甘かったです。就労移行支援事業所での訓練と支援をあれば、容易に障がい者雇用での一般就労ができると思っていましたが、実際は内定を得るまでに長い期間を要することになりました。</p> <p>私は就労活動の中で学んだ最も重要なポイントは『コミュニケーション』だと思っています。皆様の障がいがそれぞれで異なっているように、コミュニケーションの取り方もそれだとと思っていますが、雇用主は効果的な意思疎通を重視されていると思っています。ですから私は以下の3つを就労活動のために行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『情報収集と分析』、これにより、就労活動を行うための“武器”を持つことができました。その“武器”は【知識】と【技術】です。【知識】は障がい者雇用に関する法令や、自身の障がい特性やその対処、また自分が働く上で必要な合理的な配慮です。【技術】は応募書類（履歴書、職務経歴書、自己PR書）、面接対応です。</li> <li>2. 『ネットワーク』、求人に応募することはもちろん、定期的なフォローアップを受けることで、多くの機会を得ることが出来ました。</li> <li>3. 『ポジティブな姿勢を保つ』、障がい者求人での採用は容易ではありませんが、ポジティブな姿勢を保つことが重要です。そのために『みらいねっとワークス』のリソースを活用しました。『みらいねっとワークス』は他の就労移行支援事業所とは異なり在宅で利用が可能で、ITに特化しており、スタッフの方々からは様々な情報提供や、就労支援を受けることができました。</li> </ol> <p>このサポートのおかげで、私は『みらいねっとワークス』の利用開始から2ヶ月で、東京の大手企業に完全在宅勤務で、これまでの経験とスキルを活かせるIT職で採用されました。</p> <p>今後は、事業所を通じて皆様の就労活動のサポートが出来ればと思っています。最後に、スタッフの皆様への感謝と、皆様の就労成功を心から願っています。ありがとうございました。</p> |        |   |